

令和2年11月29日、明治23年の帝国議会開設から130年を迎えるに当たり、これを記念して次の行事が開催されました。

なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況を踏まえ、直近3回の議会開設記念行事では実施していた特別参観を見合わせたほか、記念式典及び祝賀会の実施に当たっては、参列者の制限など各種対策を行った上で開催されました。

- 1 記念式典
- 2 祝賀会

1 記念式典

11月29日（日）午前11時から、参議院議場において天皇皇后両陛下並びに眞子内親王殿下の御臨席をいただき、大島衆議院議長、山東参議院議長、菅内閣総理大臣、大谷最高裁判所長官を始め、国会議員等出席の下に式典が行われました。

なお、新型コロナウイルス感染症への対策として、前回の議会開設120年記念行事に比べて参列者数を大幅に削減いたしました。



記念式典における式辞、おことば及び祝辞

大島衆議院議長式辞

天皇皇后両陛下の御臨席を仰ぎ、ここに議会開設130年記念式典を挙げるに当たり、衆議院を代表して式辞を申し述べます。

本日、議会開設から130年を迎え、国民の政治参加こそが近代国家建設の礎であると決意した明治の諸先人の先見と情熱に思いを致すとき、深い感慨を覚えます。開設以来、我が国の議会は、一貫して国政の針路について真剣な議論を行い、日々その真価が問われつつ、幾多の試練を乗り越え、立法府として課せられた責務を果たしてまいりました。これまで、憲政の発展に献身された先人の御尽力に衷心より敬意と謝意を表します。

現下、我が国は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による未曾有の状況に直面しております。また、社会の変化を反映して議会制民主主義の在り方に様々な意見も寄せられているところです。私どもは、いかなる状況にあろうとも、日本国憲法の精神を体し、民主政治実現の場は、国権の最高機関たる国会であるという強い責任感を持って、常に改善を試みながら職責を全うし、実り豊かな成果を収めていかなければなりません。

ここに、私どもは、多年にわたる経験と英知によって築かれた議会制度を、次の時代により良い形で引き継いでいくという重大な使命を深く自覚するとともに、我が国の繁栄と世界の平和のために全力を尽くし、もって国民の信託に応えるべく決意を新たにします。



山東参議院議長式辞

天皇皇后両陛下の御臨席を仰ぎ、本日ここに議会開設130年記念式典を挙げるにあたり、参議院を代表して式辞を申し述べます。

明治23年11月に帝国議会在開設されて以来、わが国の議会政治は、幾多の試練を経ながらも、130年の道のりを歩んでまいりました。

昭和22年に、国民主権を基調とする日本国憲法が施行され、新たに参議院が創設されました。爾来、参議院は、国権の最高機関である国会の一翼を担い、わが国の繁栄と、国民生活の向上に力を尽くしてまいりました。

今日、新型コロナウイルス感染症対策を始めとする国内外の様々な諸課題に対して、国会が果たすべき役割や責任はより一層大きなものとなっており、国民からの期待はますます高まっております。

私どもは、議会制民主主義の確立のため力を尽くされた先人の功績と国民各位の深い理解に対し、深甚なる敬意を表するとともに、さらなる議会政治の発展に最善を尽くし、国会に課せられた重大な使命と国民の期待に応えるべく、ここに決意を新たにします。



天皇陛下おことば

議会開設130年記念式典に、皆さんと共に出席することを誠に喜ばしく思います。

我が国の議会は、明治23年、大日本帝国憲法の下で開会された第1回帝国議会に始まり、中絶されることなく、戦後、日本国憲法により設立された国会に引き継がれて、今日に至っています。明治、大正、昭和、平成、そして令和と、これまで130年の歳月にわたり、議会が、我が国における議会政治の確立に努め、国の発展と国民生活の安定向上に力を尽くしてきたことに深い感慨を覚えます。

現在、我が国を含む世界各国は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による困難な状況に直面しております。その中であって、国内外の諸情勢に思いを致すとき、国会が、国権の最高機関として、国の繁栄と世界の平和のために果たすべき責務は、ますます重要になってきていると思います。

ここに、関係する皆さんが、先人の努力をしのぶとともに、決意を新たにして、国民の信頼と期待に応えることを切に希望します。



菅内閣総理大臣祝辞

天皇皇后両陛下の御臨席を仰ぎ、本日ここに議会開設130年記念式典が挙行されますことは、誠に意義深く、心よりお喜び申し上げます。

明治23年、自由民権運動の高まりを背景に帝国議会が開設されて以来、我が国の議会制度は、多くの先人達により、憲政の確立と民意の反映のための尊い努力が積み重ねられ、発展を遂げてきました。戦後、日本国憲法の下、国民を直接代表する国会は、国権の最高機関、国の唯一の立法機関として、我が国の繁栄と国民生活の向上に大きく貢献され、平和で豊かな日本を築き上げる上で、中心的な役割を果たしてこられました。本日の盛儀に当たり、議会政治の発展のためにご尽力されました先輩各位に対して、深甚なる敬意と感謝の意を表します。

人口減少や少子高齢化に加え、新型コロナウイルスの感染拡大等、様々な試練に直面している我々は、これらを乗り越え、新しい時代の日本をつくり上げていかなければなりません。また、各国との信頼、協力関係を更に発展させ、世界の平和と繁栄のために貢献していくことが求められております。

国内外の情勢が目まぐるしく変化している今、国会が果たすべき役割はますます大きくなっています。議会開設130年の節目に当たり、国会が、全国民を代表する機関として、国民の負託に応えていかれることを切に念願して、祝辞といたします。



大谷最高裁判所長官祝辞

本日、ここに、天皇皇后両陛下の御臨席を仰ぎ、議会開設130年記念式典が挙行されますことは、誠に意義深く、心からお喜び申し上げます。

明治23年に帝国議会が開設されて以来、我が国の議会は、大正、昭和、平成を経て、令和という新しい時代に、130年の節目を迎えました。この長い歩みの中で、議会は、数多くの困難を乗り越え、議会制民主政治の発展に努めてこられました。殊に、国民主権を基本原理とする日本国憲法の下、国会は、国権の最高機関として、また、国の唯一の立法機関として、我が国社会の発展と安定のために多大な貢献をされました。この記念すべき日を迎えるに当たり、改めて、議会政治の確立と発展に力を尽くしてこられたあまたの先人並びに関係の方々に対し、深く敬意を表します。

近年、社会や経済の構造的変化、人々の価値観の多様化が進むとともに、我が国を取り巻く国際情勢も、様々な利害が交錯して予断を許さない情勢となっているように思います。また、本年になって、急速に拡大した新型コロナウイルス感染症は、国内外の社会経済活動に依然として影響を与えています。こうした中で、議会が国政の中枢において果たされる役割は、ますます重要なものとなっております。

ここに、議会開設130年をお祝いするとともに、今後も、国会が国民の期待と信頼に応えてその責務を全うされ、我が国の安定と発展に寄与されることを祈念し、私の祝辞といたします。



2 祝賀会

11月29日(日)正午から、衆議院第一議員会館の多目的ホールにおいて祝賀会が行われました。



記念行事特設ページ

衆参共通の特設ページでは、両院議長・副議長のあいさつ、目で見える議会政治百三十年史等を掲載しました。



我が国の議会は明治23年11月29日に第1回帝国議会の開院式が行われて以来、令和2年で130年を迎えます。
これを記念して衆参両議院は、令和2年11月29日（日）に式典を行いました。

